

今年度からの変更点 試験時間は**50**分、配点は**100点**で実施 **100**字程度の記述問題は出題しない

配点...100点 時間...50分 大問構成 一 「聞いて解く問題」 二 「文学的文章」 三 「説明的文章」 四 「韻文」 五 「語句・文法」 六 「漢字」 配点...100点 時間...50分 大問構成 一 「聞いて解く問題」 二 「文学的文章」 三 「説明的文章」 四 「韻文」 五 「語句・文法」 六 「漢字」

「聞く力」

を重視しています

説明、指示、会話などの 数分間の放送を聞いて 問題を解いてもらいます

大切なポイントは......

- 1. 正確に聞き取ること
- 間いた内容を正しく 理解すること
- ※配点は10点程度です

配点...100点 時間...50分

大問構成

「聞いて解く問題」

二 「文学的文章」 三 「説明的文章」

四 「韻文」

「語句・文法」

「漢字」

「登場人物の心情」 を中心に

「文法問題」 なども出題しています

30字~**50**字程度の 記述式問題を出しています

文章中の言葉を使って答えを まとめる練習をして下さい

10

配点...100点 時間...50分

大問構成

一 「聞いて解く問題」

二 「文学的文章」

三「説明的文章」

四「韻文」

五 「語句・文法」

六 「漢字」

「筆者の言いたいこと」 を中心に

「指示語」「接続語」 なども出題しています

2

30字**~50**字程度の 記述式問題を出しています

文章中の言葉を使って答えを まとめる練習をして下さい 配点...100点 時間...50分

大問構成

ー 「聞いて解く問題」

二 「文学的文章」

三 「説明的文章」

四「韻文」

五 「語句・文法」

六 「漢字」

「詩」「短歌」「俳句」から 「作者の感動」など を中心に出題しています

「表現技法」の理解が必要な 問題も出されることがあります 配点...100点 時間...50分

大問構成

一 「聞いて解く問題」

二 「文学的文章」

三 「説明的文章」

四 「韻文」

五 「語句・文法」

六 「漢字」

16

日本語表現 についての問題を出します 例①
日本語の決まりを理解しているか(主語述語・呼応・助詞・敬語など)
例②
慣用句・ことわざ・四字熟語などの使い方が分かっているか
※配点は10点程度とします





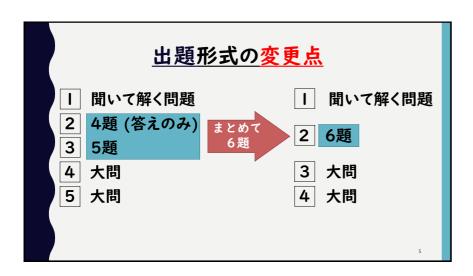
2026年度 中学入試概要

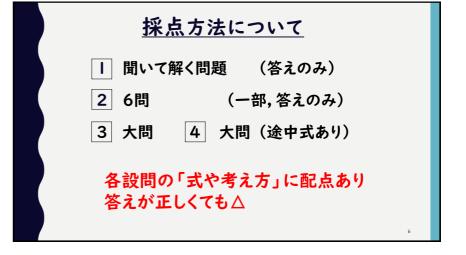
出題形式(第1,2回) 50分 100点 大問4題

出題形式

- Ⅰ 聞いて解く問題(5~10分程度)
- 2 6題 計算問題・角度など(答えのみ) 比・割合・速さ・図形・場合の数など
- |3|||大問|| 一代数もしくは幾何
- |4| 大問

※作図の出題はなくなる





採点方法について 「式や考え方」に配点があります 目的 正答を導けるだけでなく 解く過程を他者に説明できる力を測るため ○答えのみでは満点になりません ○「答え」が間違っていても 「式や考え方」が正しければ得点になります

(言語・探究入試,英語入試 2/2年後)
30分 I 00点
大問3題
それぞれ小問2~3題
代数・幾何・規則性などから出題
思考力・判断力・表現力を問います

出題形式

算数の対策 その |【小問編】

- ◆小問は、基礎的な問題を出題
 - →普段から正確かつ速く解けるように 繰り返し練習をする
- ◆図形問題は、平面図形だけでなく空間 図形も出題されます。等積変形や面積比 などさまざまな問題に触れましょう

算数の対策 その2【大問編】

- ◆問題把握が難しいものや 計算が大変なものが出題されます →できるだけ時間をかけましょう
- ◆3題程度の小問からできています 前の小問がヒントになっていることが多い

0

算数の対策 その3【解答編】

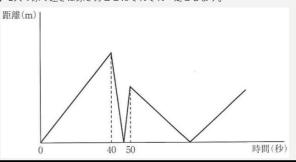
「式や考え方」に配点があります (答えのみでは△です)

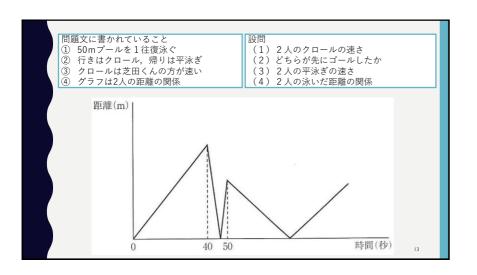


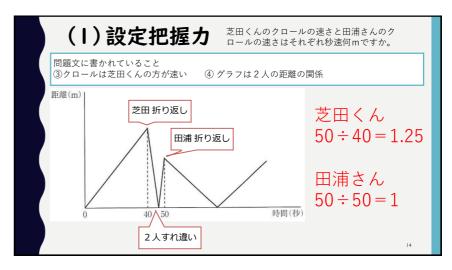
自分の考えが相手に伝わるように 途中式・考え方・図・グラフ を書いて解く練習をしましょう

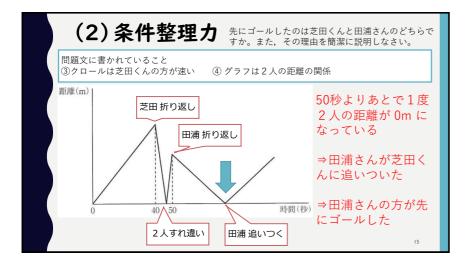
入試問題 2025年度 第2回 4

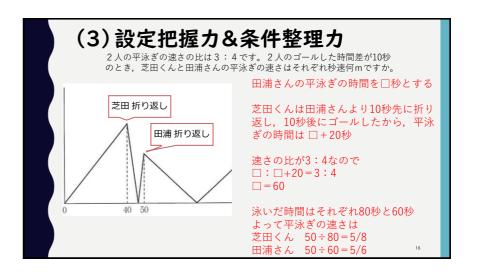
芝田くんと田浦さんは50mプールを同時にスタートして1往復泳ぎます。2人とも前半の50mをクロールで、後半の50mを平泳ぎで泳ぎます。図はスタートしてから芝田くんと田浦さんのどちらか一方が先にゴールするまでの時間と2人の距離の関係をグラフに表したものです。クロールの速さは田浦さんより芝田くんの方が速いとき,次の各問いに答えなさい。ただし、2人の泳ぐ速さは泳ぎ方ごとにそれぞれ一定とします。

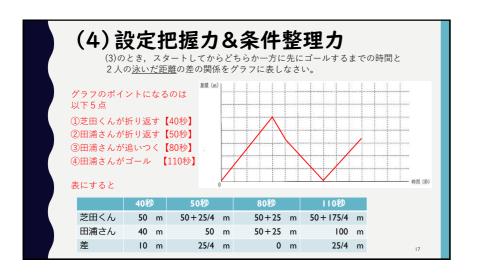


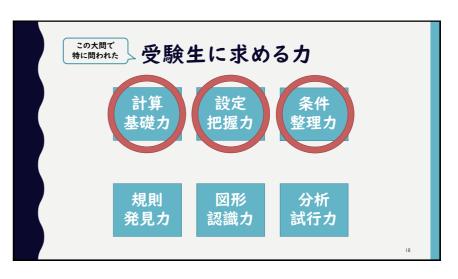




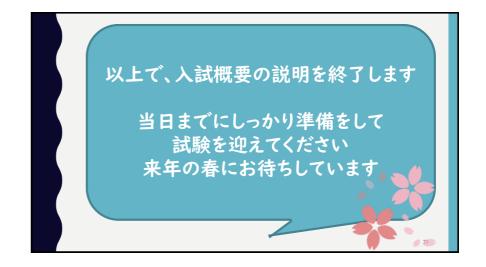








大問は前の小問からつながっており、 後半での得点が合否に関わります 設定を把握し、条件を整理できるように いまは完璧に解けなくても あきらめずに考え続け、 問題の設定を理解する練習をしてください





芝浦工業大学 附属中学校

2026年度入試変更点

・2022年度入試から実施している「<mark>聞いて解く問題</mark>」はこれ まで通り、物化生地の4分野から1問出題されます。

・大問は、<mark>物理・化学</mark>は最低1問出題されます。 (※物理、化学に関しては、2問出題されることもあり、 生物、地学分野に関しては出題されないこともあります。)

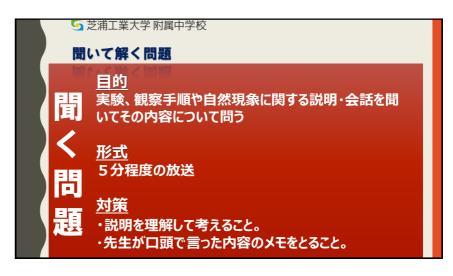
[出題パターン例]

聞いて解く(1問)、物理(2問)、化学(1問)、生物(1問)、地学(1問) 聞いて解く(1問)、物理(2問)、化学(2問)、生物(1問) 芝浦工業大学 附属中学校

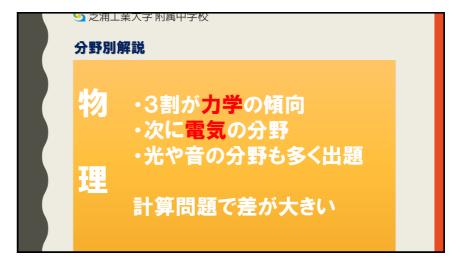
出題目的

- 物理・化学・生物・地学をまんべんなく学習できているか
 - →苦手分野をなくす
 - →物理・化学分野の学習は必須
- 実験や観察において、なぜそうなるのか原理を説明できるか
 - →結果を覚えるだけでなく、<mark>理由</mark>も身につける
- 与えられた条件を整理し、自分の考えを正確に述べられるか
 - →図表やグラフなどのデータ処理と計算力をつける



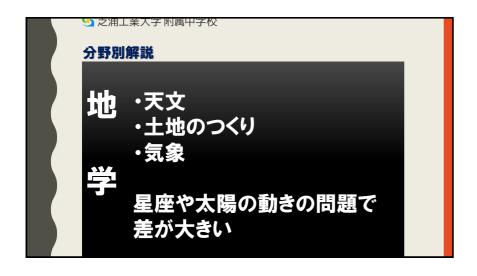


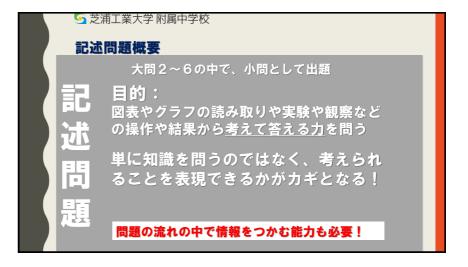




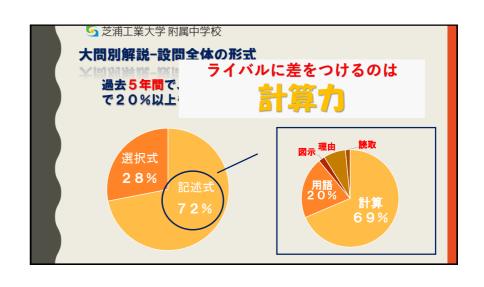








記述問題採点基準
 ポイント
 ・キーワードは必ず使うこと
 ・字数は、制限の過不足は大目に見る
 ・文脈で減点することがある
 ・文章中の漢字ミスは大目に見る
 記述問題は配点が大きいです。
 しっかり対策しましょう!!

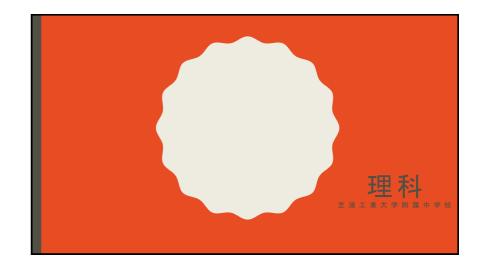


芝浦工業大学 附属中学校

まとめ

- ・基本問題は素早く確実に答えられること →大問1つあたり6~7分程度
- ・記述問題対策(仕組みの説明や考察)
 →暗記に頼らず、問題の流れをつかみながら、
 なぜそうなるのか原理を理解した学習に取り組む。
- ・実験対策

→本校入学後、実験や観察を多く取り入れるため、 興味を持って取り組み、原理や現象を説明できる 生徒を育てたい。



英語

中学入試問題英語の傾向と対策

5 芝浦工業大学 附属中学校

配点と試験時間、出題方式

①配点 100点

②試験時間 40分

③出題方式 記号選択問題、記述問題

大問構成

①リスニング問題 (5問前後)

②リスニング・ライティング混合問題 (3問前後)

③リーディング問題 (5問前後)

①リスニング問題について

【選択問題】

英語を聞き、その英語に関する質問に対して、最も適当な答えを選択する問題。 問題数は5問前後を予定。

【例題】

赤字部分は、実際の問題には書かれていません。

Attention, everyone. The shopping mall will soon be closing as it is now 5:45 pm. Every week day, from Monday to Friday, we close at 6 pm. On Saturdays and Sundays, we close one hour earlier at 5 pm. If you couldn't finish your shopping today, please come back on the weekend. Thank you for shopping here today.

Question: If the shoppers come back on Sunday, what time will they have to leave?

実際の問題冊子の表記

- ① At 5 pm.
- ② At 6 pm.
- ③ At 5:45 pm.
- 4 At 6:45 pm.

②リスニング・ライティング 混合問題について

ある場面・題材に関する英語が流れる

→流れた音声の内容に関して一致するものを選択 2 題前後を予定 (選択問題)

→流れた英語(テーマ)に関連する問いに対して、 自分の意見や考えを50~70語程度で解答(記述問題) 1 題を予定

【例題】

※実際の問題にはスクリプトは書かれていません。

Too you have your own smartphone? My family all have their own smartphones. In Japan, you always see people using their smartphones, don't you? There are some advantages of using smartphones. You can know where you are and find easy ways or routes to go anywhere, especially in an unknown place. You can enjoy yourself with games, music or movies. You can spend your time wisely reading the news or doing some official work. Food and groceries can be ordered online.

選択問題の例題

赤字部分は、実際の問題には書かれていません。

No.I According to the passage, which is the advantage of using smartphones?

- 1. You don't have to go out to get some food.
- 2. You can take care of your family.
- 3. You don't have to go to your office for your job.
- 4. You can keep your own room clean.

記述問題の例題

Recently, more and more children have their own smartphones. However, it is said that using smartphones has some bad effects on children. What problems can you think of?

Write your own ideas in 50 to 70 words.

リスニングの放送回数に関して

放送は1度しか流れません。

1度で情報を理解する練習をしてください。

※ライティングとの混合問題も同様

③リーディング問題について

【選択問題】

250~280語程度の英文を1つ読み、 内容に関する質問に対し、正しいものを 選択。英文の内容は<u>理系の要素</u>が含まれ ています。

問題数は5問前後を予定。

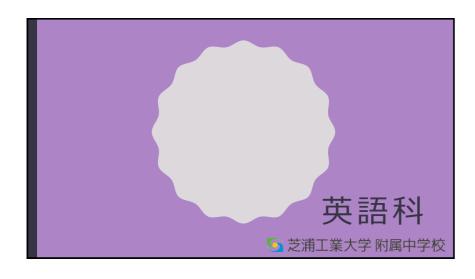
出題に関しての主な場面と題材

英語の問題は英検で4級~準2級レベル程度の 英語レベルを出題予定です。

※27年度入試より、4級~『準2級プラス』 レベル程度に変更予定です。

中学入試のご準備として参考にしてください。

| 出題に関しての主な場面と題材 | | |
|----------------|-----------|--|
| | 場面/ 状況 | 家庭、学校、地域、店舗、電話など |
| | 題材 | 理工系、家族、趣味、旅行、 スポーツ、食事、自己紹介、 近況報告、社会、人物など |
| | | |





試験概要

配点...100点 時間...40分 問題構成 大問2題

テクノロジーに関連した大問 1 題社会課題に関連した大問1 題

※どちらの大問にも長めの記述問題を出題。

入試の観点

分析力・論理的思考力

表現力・創造力

の4つの力を問う

観点①「分析力」

与えられた資料から情報を 正確かつ多面的に読み取り、 それらを組み合わせる力

観点②「論理的思考力」

明確な根拠に基づいて、 自分の考えを組み立てる力

観点③「表現力」

自分の考えを 分かりやすく相手に伝える力

観点4「創造力」

社会課題などに対して、

独自性と有用性のあるアイデアを

柔軟に考えだす力

問題例(2025入試)

大問1 テクノロジーに関連した問題

「技術革新」をキーワードにして出題。

馬車から自動車への技術革新を導入にして、 傘に関する統計データをもとに「傘の技術革新」 のアイデアを出題しました。

問題例(2025入試)

大問2 社会課題に関連した問題

資料1(小説) 子ども食堂とは何か

(小野寺史宜『とにもかくにもごはん』)

資料2(グラフ)農水省による子ども食堂実態調査

子ども食堂の目的

子ども食堂の抱える課題

問1 資料1の説明として適切でないもの。

問2 資料2の説明として適切でないもの。

→いずれも四択の正誤問題。

目的:文章資料とグラフ資料の正確な読解。

問3 あなたは子ども食堂の運営グループの一員だとします。子ども食堂の抱える課題を解消するために、以下のどの施設と協力しますか。

①小・中学校 ②ファミレス ③農家

A:**どのように協力するか**を記すこと。

B:双方に生じるメリットを記すこと。

C:施設に生じるデメリットを記すこと。

【解答例】私は小・中学校と連携して子ども食堂を宣伝してもらうべきだと考えます。なぜなら、必要とする家庭の子どもに確実に子ども食堂の存在を知ってもらえるからです。地域の小・中学校には、その地域の子供の多くが通学しています。だから、そこで子ども食堂を宣伝してもらえると、今まで子ども食堂の存在を知らなかった子どもにまで存在を知ってもらえ、本当に支援が必要な人に来てもらいやすくなります。また、学校にとっても困窮家庭の子を食生活の側面から子ども食堂が支えることで、生活や心理面の安定が期待できます。たしかに、子ども食堂に通う児童・生徒が出ると、学校内で貧富の差が目立ちやすくなってしまう恐れはあります。しかし、困窮家庭以外の子供も受け入れて地域の交流の場として認識されれば、貧富の差が悪目立ちすることもありません。

発問意図

子ども食堂の抱える課題を的確に捉え、 外部と<u>win-winの関係</u>を構築することで、 **課題を解決**する有用なアイデアを導き出せる。

発問意図

いずれの大問も

「単にこういうことを思いついた」ではなく、 「それがどのような問題をどう解決し、 また、どんな新たな問題を生じさせるか」 を考え、説明することが重要。

注意!!

- 正解は一つではありません。
- ・絵を書かせることもありますが、その上手い下手は問いません。

対策

日々の習慣づけが重要です。

- ・社会の出来事に幅広く関心を抱く。
- ・理由、原因を考え、自分なりの仮説を立てる。
- ・自分の主観を切り離して、客観的に判断する
- ・言葉を尽くして説明する。





- 1「論理社会」はどのような入試科目か
- ○単純に社会科の知識だけを問うのではなく、知識を用いた思考力を問う。
- つ「地理」「歴史」「公民」といった分野にとらわれない出題。
- ○難易度の高い問題ではなく、**資料を読めば 解ける問題。**

1「論理社会」はどのような入試科目か

平均点が7割(40点満点で28点前後)くらいになる出題を意識しています。

2 配点・試験時間

配点 40点

試験時間 20分

3 問題構成

論述問題 2 題出題

- ・短めの論述問題
- ・長めの論述問題
- ※論述のテーマに関連する小問が出題されます。

4 論述問題の傾向

長文論述・短文論述どちらも **「資料を参考にして答える」** 問題になります。

重視している観点

- ①論理的思考力/情報分析力
- ②表現力
- ③基礎となる社会科知識

①論理的思考力/情報分析力とは

- ○様々な資料を正確に理解できる。
- ○様々な資料の要点を捉えることができる。
- ○資料をもとに筋道を立てて考えられる。

②表現力

〇自分の導き出した答えを正確に伝える ことができる。

③基礎となる社会科知識 社会科の深い知識は求めていない。 思考する上で必要な基礎知識があるか。 ※社会科の知識があると 問題の核心に迫りやすい

資料を読み取りやすい

などアドバンテージになる。









「工」

浮世絵の右手に江戸城、左手に富士山が描かれ ているため。

(問題の意図)

社会科の知識をベースに与えられた情報を 活用して答えを導けるか。

「どのように答えを導いたか」を正確に伝 えられるか。

6 試験対策

ゴールは

「資料をもとにして自分の答えを説明できる」

そのために

- ①資料を読み取る練習・基礎的な社会科知識の獲得
- ②「なんでそういえるの?」 「なんでそう考えたの?」

という質問で解答を具体化させていく練習。